

2017年度数学教育学会春季年会プログラム第1報

最新情報は、数学教育学会ホームページにて公開いたします

<http://www.mes-j.or.jp/>

日時 2017年3月25日(土)～27日(月)

会場 首都大学東京(南大沢キャンパス)

東京都八王子市南大沢1-1 (京王相模原線南大沢駅下車5分)

第1会場 国際交流会館大会議室, 第2・第3会場 11号館201,202(予定)

実行委員長 植野 義明(東京工芸大学)

実行委員 及川久遠, 竹内光悦, 渡辺信, 河合博一

顧問 石谷謙介(首都大学東京)

3月25日(土)(受付時間 9:00—16:00)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30～10:30	高等学校分科会1	専門学校・大学分科会1	中学校分科会1
10:40～12:00			
13:00～13:40			
13:50～14:00	馬場賞受賞者発表		
14:10～15:10	第1会場 総合講演 I 「企業が求める人材」 講演者: 北城恪太郎(日本アイ・ビー・エム相談役・国際基督教大学理事長)		
15:20～16:50	Organized Session A 「積分教育を考える」 オーガナイザー: 砂田利一(明治大学) 招待発表者:	Organized Session B 「7大学コンソーシアムの創設を目指して」 オーガナイザー: 渡邊公夫(早稲田大学) 招待発表者:	
17:00～18:00	第1会場: 社員総会・理事会 部会・委員会打ち合わせ		

3月26日(日)(受付時間 9:00—16:00)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30～10:30	高等学校分科会2	専門学校・大学分科会2	幼稚園・小学校分科会1
10:40～12:00			
13:00～14:00	高等学校分科会3	中学校分科会2	幼稚園・小学校分科会2
14:10～15:10	第1会場 総合講演 II 「教育基本法の改変と学習指導要領の変遷」 講演者: 船倉 武夫(千葉科学大学)		
15:20～16:50	第1会場 シンポジウム 「データの数学」 コーディネーター: 笥 捷彦(早稲田大学名誉教授) パネリスト: 柴山悦哉(東京大学情報基盤センター) 辰己丈夫(放送大学教養学部)		
17:30～19:00	懇親会		

3月27日(月)(受付時間 9:00—14:00)

	第1会場	第2会場	第3会場
9:30～10:30	高等学校分科会4	専門学校・大学分科会3	統計・情報教育分科会
10:40～12:00			
13:00～14:20	歴史・哲学・比較教育分科会	教員養成・研修分科会	SG 報告会
14:30～15:40		教育課程・評価分科会	

◆参加費：2,000 円

分科会担当者および問い合わせ先、発表申込み先 E-mail アドレス

分科会①：幼稚園・小学校数学教育分科会

渡邊伸樹(nobuki@kwansei.ac.jp), 守屋誠司, 岡部恭幸, 加藤卓

発表申込みおよび論文送付先 渡邊伸樹(nobuki@kwansei.ac.jp)

分科会②：中学校数学教育分科会

白石和夫(shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp), 竹歳賢一, 松寄昭雄, 吉村昇

発表申込みおよび論文送付先 松寄昭雄(makio@mail.saitama-u.ac.jp)

分科会③：高等学校数学教育分科会

長岡亮介(rnagaoka@math.meiji.ac.jp), 及川久遠, 中込雄治, 二澤善紀

発表申込みおよび論文送付先 <前回参考> 及川久遠(h_oikawa@nifty.com)

分科会④：専門学校・大学数学教育分科会

愛木豊彦(aikit@fc.jwu.ac.jp), 植野義明, 渡辺信, 峰村勝弘, 鈴木桜子

発表申込みおよび論文送付先 愛木豊彦(aikit@fc.jwu.ac.jp)

分科会⑤：数学教員養成・研修分科会

栗原秀幸(kurih@educ.fukushima-u.ac.jp), 鈴木俊夫, 牧下英世

発表申込みおよび論文送付先 栗原秀幸(kurih@educ.fukushima-u.ac.jp)

分科会⑥：歴史・哲学・比較教育分科会

富永雅(tommy@cc.osaka-kyoiku.ac.jp), 鈴木正彦, 柳本哲, 松崎和孝

発表申込みおよび論文送付先 富永雅(tommy@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

分科会⑦：統計・情報教育分科会

竹内光悦(takeuchi-akinobu@jissen.ac.jp), 三浦由己, 船倉武夫

発表申込みおよび論文送付先 竹内光悦(takeuchi-akinobu@jissen.ac.jp)

分科会⑧：教育課程・評価分科会

渡邊公夫(kimio@waseda.jp), 黒田恭史, 秋田美代

発表申込みおよび原稿送付先 秋田美代(akitam@naruto-u.ac.jp)

SG 報告会

白石和夫(shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp)

活動報告送付先 白石和夫(shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp)

◆発表申込締切：2017年1月29日(日)

下記の **発表申込書式** で E-mail でお送り願います。件名に「**2017 年会申込**」と記載をお願いします。第1著者及び発表者は学会員に限りまので、申込時に会員番号(学会通信を送付した封筒の宛名ラベルに記載されています)を必ず記入してください。また、非会員で発表を希望する方は、入会申込み手続きを同時に行ってください。なお、同一分科会での登壇発表者は1名につき1回ですので、ご注意ください。

発表申込み先が <前回参考> となっている分科会については、学会ホームページで最新情報を確認してください。

◆発表論文送付締切：2017年2月12日(日)到着厳守

下記の **発表論文原稿書式** を用いて、3 ページ以内で Microsoft Word にて作成し、Word ファイルと PDF ファ

イルを発表論文送付先 E-mail アドレスへ**件名に「2017 年会論文」と記載の上**、添付ファイルにて送信ください。

発表申込書式および 発表論文原稿書式の Word による ひな型 がホームページからダウンロードできますので、それを使ってください。

なお、Word での送付が困難な場合につきましては、PDF ファイルでの送付をお願いします。

発表申込み先・論文送付先空欄の分科会は、学会ホームページで公開予定の最新情報での確認をお願いします。

◆**予稿集について:**予稿集は、著者から提出された原稿をそのまま印刷します。

◆**年会プログラムについて:**分科会プログラムを**20分**刻みで作成します。発表時間は**15分**です。座長判断により、分科会の残余時間をディスカッション等にあてることがあります。

◆**例会中の緊急連絡について:** 例会の発表が病気などの理由により変更が必要になった場合は、電子メールで、**件名に「緊急」と書き**、本文に理由等を書いて、meeting@mes-j.or.jp 宛にお送りください。
(緊急連絡の受付は、3月25日(土)より開始し、27日(月)に終了いたします)

2017年度 数学教育学会春季年会 発表申込書式

2017年度数学教育学会春季年会 発表申込書

発表希望分科会・発表会：「 _____ 」

発表で希望する機材（○を記入して下さい）

液晶プロジェクター

（液晶プロジェクター使用の方はコンピュータをご用意ください）

書画カメラ（書画カメラは会場設備の都合で準備できないことがあります）

講演題目「 _____ 」

氏名1 「（会員番号： _____） _____」

勤務先1（ _____ ）

メール1（ _____ ）

氏名2 「（会員番号： _____） _____」

勤務先2（ _____ ）

メール2（ _____ ）

（すべての共同発表者について、会員番号（会員である場合）、氏名、勤務先、メールアドレスを追加してお書きください。会員番号は、学会通信送付の封筒の宛先に書かれています。）

連絡先住所：

電話：

Fax：

概要（200字程度、必須）

発表希望日：特に希望がある場合は、お書きください。また、ご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。

懇親会：（○を記入して下さい）

参加

2017年度 数学教育学会春季年会 発表原稿書式

1. サイズ…A4版
2. ページ数…3ページ以内
3. 原稿の書式(以下の通りです)

(学会ホームページに掲載されている Word 文書によるひな形をお使いください)

発表題目, 所属, 氏名, 連絡先を囲む罫線が必要です

余白 30mm

発表題目

所属 氏名

E-mail: * * * * *

連絡先は住所, TEL, FAX, などでも構いません.

概要: □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 (1行あける)

200字程度

検索語: 3, 4語程度
 (1行あける)

本文

余白 25mm

(2段組) (1段の文字数 20~22文字, 行数45~48行程度)

余白 25mm

4. 原稿締め切り期日… 2017年2月12日(日) 必着
 (注)期日に間に合わない、予稿集に載りません。
5. 原稿送付先
 申込み先分科会ごとに指定されたアドレスに御送付ください。
6. 特に発展性のある発表に関しては、本人の自由投稿以外にも、それを認めた分科会担当者から、「学会誌」への推薦を行う場合があります。

1. 本規定は、年会および例会における一般発表論文について定める。シンポジウム、総合講演、オーガナイズドセッション、SG 報告等については、第 5 項を適用する。
2. 年会または例会において発表を希望する会員は、指定期日までに、題目、氏名（会員番号）、所属、および 200 字程度の概要とともに発表を申し込む。
題目は、36 文字以内とする。ただし、副題（36 文字以内）を追加してもよい。
所属名は、
現職教員（専任）は、所属校の名称、
退職教員は、元 …… ，あるいは、……名誉教授、などとし、
学生・生徒は、所属校名に院生、学生、生徒の別を付記するものとする。
3. 第 1 著者としての発表申し込みは、年会、例会ごとに、各分科会において最大 1 件とする。
4. 発表を申し込んだ会員は、指定期日までに原稿を提出する。複数著者による連名論文の場合、第 1 著者は申し込んだ会員でなければならない。
5. 原稿はモノクロ A4 版 3 ページ以内とし、別に定める書式に従って PDF 形式のファイルで提出する。